12) 杉政孝：病院組織と人間関係，医学書院，1973.
13) 島内武文：病院管理学，医学書院，1957.
14) 今村栄一：病院管理の理論と実際，医学書院，1968.
15) 橋本寛敏・吉田幸雄監修：病院管理大系，全6巻，医学書院.
16) 橋本寿三男ほか：病院管理学とはなにか，病院管理，Vol. 6, No. 1, No. 2, No. 3, No. 4, 1969.
17) 守屋 博：病院管理学の方向，病院管理大系，第1巻，p. 383，医学書院，1972.
18) 一条勝夫，遠山豪，小野丞二，入江是清：アメリカにおける最近の病院管理の動向——shared service と merger について——病院管理，Vol. 12, No. 4, 1975.
19) 若松栄一：苦悩するアメリカの医療，牧野出版社，1973.
20) 島内武文：病院管理学，医療概論編，医学書院，1967.

執筆者紹介

いちじょう・かつお　自治医大教授　1924年生.
東北大学経済学部卒，東北大・経・助手(統計学)，医・助教授(病院管理学)，厚生省病院管理研究所経営管理部長を経て，48年より現職.
専攻：病院管理学，医療経済学.

≫国際ニュース≪

IIASA の Workshop に参加して

中　山　弘　隆

1975年10月20日より25日までの5日間にわたって，Austria の Vienna 市郊外の Laxenburg にある International Institute for Applied Systems Analysis(略称IIASA)において Workshop on Decision Making with Multiple Conflicting Objectives が開催された．周知のように IIASA は科学技術の平和利用を目的に，特にシステム分析を主な手法として現在，人類社会がもつ共通の問題，たとえば資源問題，環境問題などに対処すべく世界各国(日本を含め13カ国)共同出資で1973年に設立されたものである．

本 Workshopは初代所長の Raiffa 教授と現在IIASAに勤務の Keeney 博士の主唱によって，最近各分野で重要な問題となってきている「多くの相克する目的がある場合の意思決定」をテーマとして催されたものである．本 Workshop の主旨は「意見の交換，問題の発見」にあるという主宰者の強い意図によって，出席者数は30名以下，しかもあらゆる分野を網羅するよう厳しく限定された．

Workshop にさき立ち，まず Raiffa 教授が多目的意思決定における問題点を提起，および現在までの手法の解説を行なった．Workshopは毎日午前9時から午後5時半まで，途中昼食と2回のコーヒー・ブレイクをはさむほかはすべて発表と討論というハード・スケジュールで行なわれた．(もっとも，一部の参加者の強い主張によって最終日の前日は午後3時まで，最終日は午後1時までにスケジュールは変更されたが．)

発表は①測定論，②効用理論，③多目的最適化理論，④応用に大別されるが，人間の選好の表現の仕方，およびその解析に関しては意思決定における重大問題でもあり，全会期を通じ熱のこもった議論が交わされた．また，実際問題への適用についても大きな関心がもたれ，特に最終日，総括として社会的選択に関する解析と実際面への適用についてが討論のテーマとなるほどであった．

Workshopそのものは非常にハード・スケジュールではあったけれども，Cocktail Party, Heuriger Party, Farwell Partyがあり，また出席者のほとんどが同じホテルに宿泊したこと(つまり，寝る時以外はいつもおたがいに顔を付き合わす状態であったこと)もあり，会期中，参加者の間は非常に親密となり，このような外的条件も Workshop の内容の充実に一つの効果を与えていたことも見逃せない．従来のような Conference もさることながら，このような内容の充実した Workshop が今後も数多く開催されることを期待してやまない．

なお，本 Workshop における発表論文，および討論内容は Unedited Proceeding として IIASA から出版される予定である．(なかやま・ひろたか　甲南大学)

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．